

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容①】 生徒の考えをクラウド上で共有し、互いに参照しながら学びを広げる工夫

【概要】

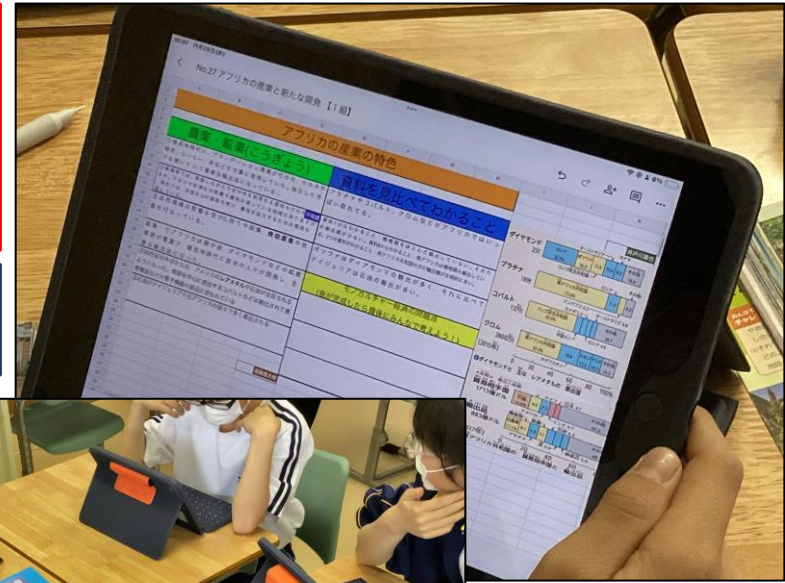
協働的な学びを実現するためには、自分とは異なる見方や考え方に触れる環境を提供することが大切です。本校では、Google SlidesやGoogle Jamboardを用いて共同編集し、互いの考えや意見を参照し合ったり、課題解決に協働して取り組んだりしています。

【使用するアプリ等】

Googleスプレッドシート、Google Slides、Google Jamboard等

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- ・出席番号やグループは教員が事前にタブやスライドに割り当てます。
- ・数学のようにテキスト入力に時間を要する教科はJamboardを利用してタッチペンを活用できるようにしています。
- ・生徒は、互いの考えや意見を自分が必要なタイミングでいつでも参照できるようになったため、これまでよりも多くの情報を基に課題解決に取り組めるようになっています。
- ・生徒は、グループでまとめた内容のポイントとなる箇所をスクリーンショットするなどして自分用のGoogle SlidesやJamboardに貼り付け、自分だけのデータとして利活用するようになっています。
- ・教師は生徒の学習状況をいつでも把握することができるため、指導・支援の充実につながっています。



知識構成型ジグソー法におけるエキスパート活動の様子

途中参照をしながら
学びを深めた例

「四角形の各辺の中点を結んでできる四角形は、『中点四角形』である」ことを証明しよう。

仮定…中点を結んでいく
→ 中点連結定理より
(△BEF ≡ △BCE 見ると)
(BE = BA = BF = BC = 1/2 AC) かつ EF = 1/2 AC …①
(次に △ADH ≡ △DAE 見ると)
② 同様に
HG = 1/2 AC …②

①、②により
EF = 1/2 AC = HG かつ
EF = HG といえ、対辺がそれぞれ等しいといふ四角形 EFGH は平行四角形といえる

2組の対辺の長さが等しいことを証明
↓
平行四角形の条件